

北斗高等学校(通信制の課程)における「あおり創造学」について

令和5年度は「あおり創造学～あなたにできる地域貢献～」として、持続可能な青森県を創造できる人材となるために、青森県で学ぶこと、働くこととその課題について調べ、整理、分析し、進路達成とキャリア形成に主体的に取り組める生徒の育成を目指し、地域貢献・参加をテーマに実施しました。

7月19日(水)または23日(日)の「総合的な探究の時間1」の1時間目に地域課題解決等に取り組んでいる方を講師として招いて講演会を実施し、2時間目に自分が地域のために実行したいことについて整理・分析を行いました。

1 年間指導計画における位置付け			
「あおり創造学」～あなたにできる地域貢献～ 2時間 / 2時間			
2 実践事例の概要			
(1) 単元の目標			
① 青森県の地域貢献活動について知り、どのような方法で社会参加できるかを考え課題を設定する。			
② 設定した課題の解決に向けて実践できることを考えまとめることができる。			
(2) 単元の評価規準			
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・情報を取捨選択し、知識や体験と結びつけている。 ・分析方法の想定、計画、資料収集でのまとめや照合、吟味ができている。	・探究の過程の中で、課題(テーマ)の内容の質や精度の向上を図り、獲得した知識と技能を活用して新たな課題を設定している。	・興味・関心をもって主体的・協働的に学習し、じっくりと課題に取り組むことができている。
(3) 単元の学習内容、学習活動			
	学習内容・学習活動		評価の観点・方法
配当時間 1	・地域課題を探る (地域課題解決に取り組んでいる方による講演) 地域課題に関連する話を聴き、知識を深める。		・青森県の地域貢献活動について知り、興味・関心や経験をもとに地域で活かせるものについて考え、レポートにまとめることができる。

配当 時間 1	地域課題解決のために （課題設定シートの作成） ・自分が実践してみたい地域活動について考え、課題を設定し、整理・分析する。 活動全体の振り返り ・自分に出来る社会参加についての探究活動を振り返り、レポートにまとめる。	・自分の興味・関心を地域で活かせるような社会貢献活動の一つを設定し、実践のための課題について調べ、レポートにまとめることができる。
---------------	--	---

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・地域貢献に関する講演を聴き、生徒が自分自身と向きあい、地元を見つめ直すきっかけを得て、これからの学びを更に深める力を得た。自分の考えを系統立てて整理し、意見交換をする活動では生徒同士で新たな気づきが生まれるなど、有意義な体験をすることができた。
- ・地域のためにしてみたいことについて提示し、実践するための課題設定・まとめ・活動の振り返りを行い、主体的・協働的に探究活動に取り組み、地域に対する愛着や誇りを高めることができた。

(2) 今後の課題

- ・年1回2時間という限られた総合的な探究の時間で、「あおもり創造学」を持続可能な活動とし、できる範囲で内容を充実させること。
- ・1年次の「あおもり創造学」での取組を活かし、2年次・3年次の総合的な探究の時間での学習をより発展的・実践的なものとする。

4 活動の様子

ほとんどの生徒が予想以上に積極的に取り組んでいた。また、地域貢献活動のアイデアを書き出した後1つを選んで課題を設定するステップでは、難しい内容でありながらも粘り強く考察していた。自己設定した課題の調査や提出レポートなどから達成感を得られた様子を感じることができた。

